



2025 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号: 9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、SaaS 事業の顧客 LTV 最大化に向け

カスタマーサクセス体制を強化！

～開発部門の技術サポートチームを移管し、解約率低減とアップセルを推進～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）は、2025 年 8 月より、グループ中核企業である売れるネット広告社株式会社において、従来「開発部」所属だったサポートチームを「カスタマーサクセス部」へ異動いたしました。

この体制変更により、開発起点の専門知識とフロント営業部隊の現場感覚が完全に融合。クライアントへの対応スピードと品質を飛躍的に高め、顧客満足度・継続率・LTV（顧客生涯価値）の最大化を実現する新たなフェーズへ突入いたしました。

【“裏方” から“最前線” へ——技術知見が顧客接点の武器に変わる】

従来、サポートチームは『売れる D2C つくる』などの SaaS プロダクト開発を支えるバックエンド組織として、「機能・仕様」に関するサポートを中心に活動してまいりました。

しかし近年、クライアントの要望は単なる「使い方」ではなく、「成果をどう上げるか」へと進化。これを受け、開発知識を持つサポート人材をカスタマーサクセス部へ異動させ、営業・CS・クライアントの三位一体による即応体制を構築しました。

今では営業担当が商談・提案の現場で課題に直面した瞬間、その場でサポートチームが技術的視点から解決策を提示。これまで数日を要していた問い合わせ対応が、リアルタイムで完結するケースも増加しています。まさに“開発知見の最前線シフト”によって、サポートが「守り」から「攻め」へと進化を遂げたのです。

【営業とサポートが一体化——“最強の売れるノウハウ®”を顧客体験へ直結】

売れるネット広告社グループの中核資産である『最強の売れるノウハウ®』は、2,600回を超えるA/Bテストで検証された“勝ちパターン”の結晶。

今回の体制変更では、このノウハウを熟知した営業担当と、開発・サポートの技術的知見が同じ部門内で共有されるようになり、顧客提案の質が飛躍的に向上しています。

たとえば、カスタマーサクセス部内での定例ミーティングでは「売れるD2Cつくる」の改善要望が即座にプロダクトチームに伝達され、次期アップデートに反映。

結果として、クライアントが抱える課題が“現場からプロダクト”へ、そして再び“プロダクトから現場”へと循環する“顧客成功の永久機関”が稼働し始めました。

【初期段階から手応えを実感——LTV向上の確信へ】

本移籍の初期段階から、クライアント企業より「対応スピードが異次元」「技術的な回答の精度が上がった」「サポートと営業の連携がスムーズ」との声が続出しています。

現場では既に、対応リードタイムの短縮やアップセル機会の増加といった定量的成果も見え始めており、顧客満足度の向上が解約率の低下とLTV向上につながるという確信を強めています。

【“最強の売れるノウハウ®×顧客成功”が描く次の戦略——SaaS収益最大化へ】

この取り組みは単なる組織変更ではなく、グループ全体のストック収益構造を強化する“戦略的再編”です。

サポートチームの知見がカスタマーサクセス部に統合されたことで、『売れるD2Cつくる』をはじめとするSaaS事業におけるカスタマーサクセスが強化され、解約率低下・アップセル増加によるLTV最大化が進行中です。

今後は『売れるAIマーケティング社』との連携により、AIアシストによる問い合わせ分析・自動提案の実装も視野に入れており、「人×AI×ノウハウ」の三位一体による顧客成功モデルを確立してまいります。

【今後の展望——顧客成功の“新しい常識”を創る】

短期的には、営業・サポート・開発の三者間の連携強化をさらに推進し、レスポンスと改善スピードの極限化を図ります。

中期的には、AIを活用した「顧客満足度スコアリング」や「自動ナレッジ蓄積システム」の導入を進め、データドリブンなCS戦略を構築。

そして長期的には、売れるネット広告社グループ全体のSaaS事業におけるLTV最大化を通じ、“顧客成功が利益成長を生む企業構造”を確立してまいります。

株主・投資家の皆様、

我々は「売れる」を科学してきた会社から、「顧客成功そのものをデザインする」会社へ進化します。

その変革の瞬間を、ぜひその目でお確かめください。

以 上